

各 位

ネットインデックス、中国での PHS パケット通信に関するライセンス契約を京セラと締結

～中国広域で PHS インターネット通信サービスが可能となるソフトウェアを開発～

株式会社ネットインデックス（本社：東京都中央区、代表取締役社長：鶴野正康、以下 ネットインデックス）は、中国全土（※一部地域除く）で PHS でのインターネット通信や e-mail が可能となる「PHS パケット通信のソフトウェア」を開発し、京セラ株式会社（本社：京都府京都市、代表取締役社長：川村誠、以下 京セラ）と、同ライセンスの契約を締結しました。

ネットインデックスは世界で初めて PHS マルチリンクパケット方式のソフトウェア開発に成功しており、既に日本国内では、PHS の主要メーカー各社とパケット通信のライセンス契約を締結しソフトウェアの提供を行なっております。

今回新たに中国での PHS パケット通信が可能となるソフトウェアを開発し、中国市場で PHS 端末を供給している京セラと中国においてもライセンス契約を締結しました。このソフトウェアの提供により、多様化する中国 PHS 市場のデータ通信に関する要求に幅広く対応することが可能となります。

中国での PHS の普及は目覚しく、2006 年末には約 1 億人という日本をはるかに越える最大規模の市場に成長しました。現在 PHS 事業を行っているのは、中国の固定電話事業者の「中国電信」「中国网通」の 2 社で、実際の事業は各都市レベルで行われています。しかし、中国全国を通じての統一サービスは行われておらず、都市間の国内ローミングもできないので、都市を移動しては利用ができません。また、機能としては音声通話とショートメッセージのサービスのみが提供されています。

昨今の急速な PC の普及や来年開催される北京オリンピックを前に、パケット通信方式によるコンテンツサービスの展開に対する需要が高くなっています。

今回ネットインデックスが開発したパケット通信のソフトウェアは、PHS-MoU(※1)が推進する通信仕様が共通化されたパケット通信規格「FACCH2」(※2)に対応しているため、中国のほぼ全土でインターネット通信や e-mail が使用可能となると共に、中国国内の都市部においてデータ通信のローミングも可能となります。

今回の京セラとのライセンス契約を契機に、ネットインデックスは中国での PHS データ通信ビジネスを更に推進して参ります。

(※1) PHS-MoU について

PHSMoU Group は、世界各国への PHS 普及に賛同する企業・主官庁・組合などで構成された電波産業会傘下の任意団体。1996 年に設立され、技術仕様の策定やプロモーション活動、PHS 事業者間の意見交換などの活動を通じて PHS の普及促進に取り組んでいる。いわゆる標準化団体で、PHS を普及させることでスケールメリットを増加させ、より高度な技術をより安価なコストで利用できるようにする。PHS 特有の端末認証番号も MoU で管理し発行している。

(※2) FACCH2: Fast Associated Control Channel (Type2)

報道関係者からのお問い合わせ先
株式会社ネットインデックス
広報室 上田 TEL : 03-5250-7200